

令和2年三重県議会定例会

予算決算常任委員会
教育警察分科会資料

所管事項調査

資料1 債権処理計画(令和元年度実績・令和2年度目標)について

資料2 令和3年度当初予算編成に向けての基本的な考え方について

付託議案審査

資料3 令和元年度歳入歳出決算補充説明書

令和2年10月
警察本部

債権処理計画

(令和元年度実績・令和2年度目標)

三重県警察本部

令和元年度 債権処理計画（実績）

総括票	1
個 票		
放置違反金	2
損害賠償金弁償金（交通信号機）	3
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	4
損害賠償金弁償金（松阪署留置施設）	5
損害賠償金弁償金（交通事故）	6
損害賠償金弁償金（亀山署川崎駐在所）	7
損害賠償金弁償金（四日市南署諏訪交番）	8

三重県警察本部

様式(実績2)

令和元年度 債権処理計画(実績・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 令和元年度実績

債権の性格	種別	A 平成30年度 実績	B 当初 (平成30年度末)	C 令和元年度 目 標 (元年度発生分を除く。)			D 実績(令和元年度末) (元年度発生分を除く。)					E 元年度発生分 期末残高	F 令和元年度末 B-D+E	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率			金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数		全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数		全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	目標達成率 D/C(%)	件数	件数
3-1 強制徴収 公債権	回収対象	2,052,468 円		2,200,000 円	回収率		107.2	1,795,532 円	回収率		87.5	81.6		
		139 件		150 件	回収率		107.9	126 件	回収率		90.6	84.0		
	整理対象	637,000 円		3,605,558 円	整理率		566.0	3,883,558 円	整理率		609.7	107.7		
		44 件		257 件	整理率		584.1	277 件	整理率		629.5	107.8		
	計	2,689,468 円	7,087,722 円	5,805,558 円	処理率	81.9	215.9	5,679,090 円	処理率	80.1	211.2	97.8	2,802,859 円	4,211,491 円
		183 件	497 件	407 件	処理率	81.9	222.4	403 件	処理率	81.1	220.2	99.0	190 件	284 件
3-2 非強制徴収 公債権	回収対象	0 円		0 円	回収率			0 円	回収率					
		0 件		0 件	回収率			0 件	回収率					
	整理対象	0 円		0 円	整理率			0 円	整理率					
		0 件		0 件	整理率			0 件	整理率					
	計	0 円	0 円	0 円	処理率			0 円	処理率				0 円	0 円
		0 件	0 件	0 件	処理率			0 件	処理率				0 件	0 件
3-3 私債権	回収対象	591,000 円		4,914,541 円	回収率		831.6	119,941 円	回収率		20.3	2.4		
		0 件		3 件	回収率			1 件	回収率			33.3		
	整理対象	0 円		0 円	整理率			0 円	整理率					
		0 件		0 件	整理率			0 件	整理率					
	計	591,000 円	21,412,260 円	4,914,541 円	処理率	23.0	831.6	119,941 円	処理率	0.6	20.3	2.4	4,769,160 円	26,061,479 円
		0 件	12 件	3 件	処理率	25.0		1 件	処理率	8.3		33.3	3 件	14 件
合計	回収対象	2,643,468 円		7,114,541 円	回収率		269.1	1,915,473 円	回収率		72.5	26.9		
		139 件		153 件	回収率		110.1	127 件	回収率		91.4	83.0		
	整理対象	637,000 円		3,605,558 円	整理率		566.0	3,883,558 円	整理率		609.7	107.7		
		44 件		257 件	整理率		584.1	277 件	整理率		629.5	107.8		
	計	3,280,468 円	28,499,982 円	10,720,099 円	処理率	37.6	326.8	5,799,031 円	処理率	20.3	176.8	54.1	7,572,019 円	30,272,970 円
		183 件	509 件	410 件	処理率	80.6	224.0	404 件	処理率	79.4	220.8	98.5	193 件	298 件

様式(実績1)

令和元年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規:道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明、生活困窮等
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	○所在不明者の追跡調査、電話、訪問等による催促などにより自主的な納付率の向上方を推進するとともに、納付に応じない者に対しては滞納処分を継続実施していきます。 ○多数滞納事案や時効切迫事案を重点に徴収を推進します。
8 取組成果	○令和元年度中、過年度の未済額の回収は126件(目標比-24件、達成率84.0%)1,795,532円(目標比-404,468円、達成率81.6%)で、目標を下回る結果となりました。 ○令和元年度は、前年度の実績を基準に目標設定を行いました。多年に亘り追求が難航している者の中で、特に生活実態把握困難者等からの回収が難しくなっています。

滞納債権の現状

9 令和元年度実績

債権の性格	種別	A 平成30年度実績	B 当初(平成30年度末)	C 令和元年度 目標(元年度発生分を除く。)			D 実績(令和元年度末)(元年度発生分を除く。)				E 元年度発生分期末残高	F 令和元年度末 B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
強制徴収公債権	回収対象	2,052,468 円		2,200,000 円	回収率	107.2	1,795,532 円	回収率	87.5	81.6				
		139 件		150 件	回収率	107.9	126 件	回収率	90.6	84.0				
	整理対象	637,000 円		3,605,558 円	整理率	566.0	3,883,558 円	整理率	609.7	107.7				
		44 件		257 件	整理率	584.1	277 件	整理率	629.5	107.8				
	計	2,689,468 円	7,087,722 円	5,805,558 円	処理率	81.9	215.9	5,679,090 円	処理率	80.1	211.2	97.8	2,802,859 円	4,211,491 円
		183 件	497 件	407 件	処理率	81.9	222.4	403 件	処理率	81.1	220.2	99.0	190 件	284 件

様式(実績1)

令和元年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	継続的に電話催促、訪問等を行い、現状にあった返還指導を促し、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	定期的に訪問、電話催告を実施して、債権回収を図るため債務者に納入を促したものの、生活困窮者であり、納入ができず、目標の金額には至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和元年度実績

債権の性格	種別	A 平成30年度実績	B 当初(平成30年度末)	C 令和元年度目標(元年度発生分を除く。)			D 実績(令和元年度末)(元年度発生分を除く。)				E 元年度発生分期末残高	F 令和元年度末 B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-3 私債権	回収対象	590,000 円		4,904,600 円	回収率	831.3	110,000 円	回収率	18.6	2.2				
		0 件		2 件	回収率		0 件	回収率		0.0				
	整理対象	円		円	整理率		円	整理率						
		件		件	整理率		件	整理率						
	計	590,000 円	12,525,600 円	4,904,600 円	処理率	39.2	831.3	110,000 円	処理率	0.9	18.6	2.2	4,480,800 円	16,896,400 円
		0 件	9 件	2 件	処理率	22.2		0 件	処理率	0.0		0.0	1 件	10 件

様式(実績1)

令和元年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返し衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在神戸拘置所に収監中のため、現状での債権回収は困難であると考えられますが、引き続き返済を促すため、収監先への訪問、面会を行うよう努めます。
8 取組成果	収監中の債務者を訪問し、債務承認に係る誓約書の提出を受けました。

滞納債権の現状

9 令和元年度実績

債権の性格	種別	A 平成30年度実績	B 当初(平成30年度末)	C 令和元年度 目標(元年度発生分を除く。)			D 実績(令和元年度末)(元年度発生分を除く。)				E 元年度発生分期末残高	F 令和元年度末 B-D+E	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数		全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数		全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数
9-3 私債権	回収対象	1,000 円	/	0 円	回収率	0.0	0 円	回収率	0.0		/	/	
		0 件	/	0 件	回収率		0 件	回収率			/	/	
	整理対象	円	/	円	整理率		円	整理率			/	/	
		件	/	件	整理率		件	整理率			/	/	
	計	1,000 円	8,828,119 円	0 円	処理率	0.0	0.0	0 円	処理率	0.0	0.0	円	8,828,119 円
		0 件	1 件	0 件	処理率	0.0		0 件	処理率	0.0		件	1 件

様式(実績1)

令和元年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(松阪署留置施設)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	松阪警察署留置場面会室において、弁護士と接見中に激高し、通話口の亚克力ボードに椅子を叩きつけ損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在名古屋拘置所に収監中のため、現状での債権回収は不可能と考えられますが、引き続き返済を促すため、収監先への訪問、面会を行うよう努めます。
8 取組成果	債権の回収に至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和元年度実績

債権の性格	種別	A 平成30年度実績	B 当初(平成30年度末)	C 令和元年度 目標(元年度発生分を除く。)			D 実績(令和元年度末)(元年度発生分を除く。)				E 元年度発生分期末残高	F 令和元年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率		0円	回収率			/	/
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/
	整理対象	円	/	円	整理率		円	整理率			/	/
		件	/	件	整理率		件	整理率			/	/
	計	0円	48,600円	0円	処理率	0.0	0円	処理率	0.0		円	48,600円
		0件	1件	0件	処理率	0.0	0件	処理率	0.0		件	1件

様式(実績1)

令和元年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通事故)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	北牟婁郡紀北町地内で発生した公用車事故に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	納付忘れ
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部警務課

7 取組方針	相手方保険会社を通じ示談を交渉、成立したため、同保険会社に損害賠償金の納入通知書を交付したものであるが、賠償額が少額であったため相手方が自動車保険を使用せず、自費弁済に切り替えたことから、本人が納付忘れをしているものであるため、再度相手方との窓口となっている保険会社に納付依頼を行います。
8 取組成果	令和元年6月17日に納付されました。

滞納債権の現状

9 令和元年度実績

債権の性格	種別	A 平成30年度実績		B 当初(平成30年度末)		C 令和元年度目標(元年度発生分を除く。)				D 実績(令和元年度末)(元年度発生分を除く。)				E 元年度発生分期末残高	F 令和元年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額			
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比G/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数			
9-3 私債権	回収対象	0円		9,941円	回収率		9,941円	回収率		100.0					
		0件		1件	回収率		1件	回収率		100.0					
	整理対象	円		円	整理率		円	整理率							
		件		件	整理率		件	整理率							
	計	0円	9,941円	9,941円	処理率	100.0	9,941円	処理率	100.0	100.0	円	0円			
		0件	1件	1件	処理率	100.0	1件	処理率	100.0	100.0	件	0件			

様式(実績1)

令和元年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(亀山署川崎駐在所)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	亀山警察署川崎駐在所において、同事務所の入り口引き戸ガラスに投石し、これを損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	令和元年度発生債権のため取組方針設定なし
8 取組成果	

滞納債権の現状

9 令和元年度実績

債権の性格	種別	A 平成30年度 実績	B 当初 (平成30年度末)	C 令和元年度 目標 (元年度発生分を除く。)				D 実績(令和元年度末) (元年度発生分を除く。)				E 元年度発生分 期末残高	F 令和元年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 G/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3 私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率		0円	回収率			/	/	
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/	
	整理対象	円	/	円	整理率		円	整理率			/	/	
		件	/	件	整理率		件	整理率			/	/	
	計	0円	0円	0円	処理率		0円	処理率			45,360円	45,360円	
		0件	0件	0件	処理率		0件	処理率			1件	1件	

様式(実績1)

令和元年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(四日市南署諏訪交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	四日市南警察署諏訪交番において、同交番に設置の掲示板を蹴って損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	令和元年度発生債権のため取組方針設定なし
8 取組成果	

滞納債権の現状

9 令和元年度実績

債権の性格	種別	A 平成30年度実績		B 当初(平成30年度末)		C 令和元年度目標(元年度発生分を除く。)				D 実績(令和元年度末)(元年度発生分を除く。)				E 元年度発生分期末残高	F 令和元年度末 B-D+E	
		処理額		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数		未済件数		処理件数		全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数		全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率			0円	回収率				/	/		
		0件	/	0件	回収率			0件	回収率				/	/		
	整理対象	円	/	円	整理率			円	整理率				/	/		
		件	/	件	整理率			件	整理率				/	/		
	計	0円	0円	0円	処理率			0円	処理率					243,000円	243,000円	
		0件	0件	0件	処理率			0件	処理率					1件	1件	

令和2年度 債権処理計画（目標）

総括票	9
個票	
放置違反金	10
損害賠償金弁償金（交通信号機）	11
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	12
損害賠償金弁償金（松阪署留置施設）	13
損害賠償金弁償金（亀山署川崎駐在所）	14
損害賠償金弁償金（四日市南署諏訪交番）	15

様式(目標2)

令和2年度 債権処理計画(目標・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 令和2年度目標

債権の性格	種別	A 令和元年度末	B 令和2年度目標 (2年度発生分を除く。)			C 令和2年度当初に存在する債権にかかる令和元年度処理額 (元年度発生分を除く。)	主な債権	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
3-1 強制徴収 公債権	回収		1,900,000 円	回収率	105.8	1,795,532 円		
			130 件	回収率	103.2	126 件		
	整理		230,000 円	整理率	5.9	3,883,558 円		
			15 件	整理率	5.4	277 件		
	計		4,211,491 円	2,130,000 円	処理率	50.6		5,679,090 円
			284 件	145 件	処理率	51.1		403 件
3-2 非強制徴収 公債権	回収		0 円	回収率		0 円		
			0 件	回収率		0 件		
	整理		0 円	整理率		0 円		
			0 件	整理率		0 件		
	計		0 円	0 円	処理率			0 円
			0 件	0 件	処理率			0 件
3-3 私債権	回収		2,203,000 円	回収率	2,002.7	110,000 円		
			1 件	回収率		0 件		
	整理		0 円	整理率		0 円		
			0 件	整理率		0 件		
	計		26,061,479 円	2,203,000 円	処理率	8.5		110,000 円
			14 件	1 件	処理率	7.1		0 件
合計	回収		4,103,000 円	回収率	215.3	1,905,532 円		
			131 件	回収率	104.0	126 件		
	整理		230,000 円	整理率	5.9	3,883,558 円		
			15 件	整理率	5.4	277 件		
	計		30,272,970 円	4,333,000 円	処理率	14.3		5,789,090 円
			298 件	146 件	処理率	49.0		403 件

様式(目標1)

令和2年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規：道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明、生活困窮等
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組 方針	○ 所在不明者の追跡調査、電話や訪問等による催促により自主的な納付率の向上 方策を推進するとともに、納付に応じない者に対しては滞納処分を継続実施してい きます。
	○ 多重滞納事案や時効切迫事案を重点に徴収を推進します。

滞納債権の現状

8 令和2年度目標

債権の性格	種別	A 令和元年度末	B 令和2年度目 標 (2年度発生分を除く。)			C 令和2年度当初に存在する債 権にかかる令和元年度処理額 (元年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-1 強制徴収 公債権	回収	 	1,900,000 円	回収率		105.8	1,795,532 円	
		 	130 件	回収率		103.2	126 件	
	整理	 	230,000 円	整理率		5.9	3,883,558 円	
		 	15 件	整理率		5.4	277 件	
	計	4,211,491 円	2,130,000 円	処理率	50.6	37.5	5,679,090 円	
		284 件	145 件	処理率	51.1	36.0	403 件	

様式(目標1)

令和2年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取 組 方 針	継続的に電話催促、訪問等を行い、現状にあった返還指導を促し、債権回収を図っていきます。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和2年度目標

債権の性格	種別	A 令和元年度末	B 令和2年度目標 (2年度発生分を除く。)			C 令和2年度当初に存在する債権にかかる令和元年度処理額 (元年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収	/	1,960,000 円	回収率	1,781.8	110,000 円		
		/	0 件	回収率		0 件		
	整理	/	円	整理率		円		
		/	件	整理率		件		
	計	16,896,400 円	1,960,000 円	処理率	11.6	1,781.8		110,000 円
		10 件	0 件	処理率	0.0			0 件

様式(目標1)

令和2年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返し衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難であると考えられますが、引き続き返済を促すため、収監先への訪問、面会を行うよう努めます。
-----------	--

滞納債権の現状

8 令和2年度目標

債権の性格	種別	A 令和元年度末		B 令和2年度目標 (2年度発生分を除く。)			C 令和2年度当初に存在する債権にかかる令和元年度処理額 (元年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	回収率・整理率	処理額				
				処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数			
8-3 私債権	回収			0 円	回収率			0 円		
				0 件	回収率			0 件		
	整理			円	整理率			円		
				件	整理率			件		
	計		8,828,119 円		0 円	処理率	0.0			0 円
			1 件		0 件	処理率	0.0			0 件

様式(目標1)

令和2年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(松阪署留置施設)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	松阪警察署留置場面会室において、弁護士と接見中に激高し、通話口のアクリルボードに椅子を叩きつけ損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難であると考えられます。今後は定期的に収監先の確認を行い、必要に応じて訪問、面会を行います。
--------	---

滞納債権の現状

8 令和2年度目標

債権の性格	種別	A 令和元年度末	B 令和2年度目標 (2年度発生分を除く。)			C 令和2年度当初に存在する債権にかかる令和元年度処理額 (元年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収		0 円	回収率		0 円		
			0 件	回収率		0 件		
	整理			円	整理率			円
				件	整理率			件
	計		48,600 円	0 円	処理率	0.0		0 円
			1 件	0 件	処理率	0.0		0 件

様式(目標1)

令和2年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(亀山署川崎駐在所)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	亀山署川崎駐在所入り口の引き戸に投石し、ガラスを損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の弁済意思なし
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組 方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難であると考えられます。今後は定期的に収監先の確認を行い、必要に応じて訪問、面会を行います。
---------------	---

滞納債権の現状

8 令和2年度目標

債権の性格	種別	A 令和元年度末		B 令和2年度目標 (2年度発生分を除く。)			C 令和2年度当初に存在する債権にかかる令和元年度処理額 (元年度発生分を除く。)		備考
		未済額	未済件数	処理額	回収率・整理率		処理額		
					全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収	/		0 円	回収率			0 円	
		/		0 件	回収率			0 件	
	整理	/			整理率			円	
		/			整理率			件	
	計	45,360 円		0 円	処理率	0.0		0 円	
		1 件		0 件	処理率	0.0		0 件	

様式(目標1)

令和2年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(四日市南署諏訪交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	四日市南署諏訪交番の掲示板のガラスを蹴破り、背板とホワイトボード等を損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	所在不明
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組 方針	債務者の所在が不明であるため、現状での債権回収は困難であると考えられますが、実家等立ち寄り先への訪問、電話確認を行うなど、債権の回収に努めます。
---------------	--

滞納債権の現状

8 令和2年度目標

債権の性格	種別	A 令和元年度末		B 令和2年度目標 (2年度発生分を除く。)			C 令和2年度当初に存在する債権にかかる令和元年度処理額 (元年度発生分を除く。)		備考	
		未済額		処理額	回収率・整理率		処理額			
		未済件数		処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数			
8-3 私債権	回収	/		243,000 円	回収率			0 円		
		/		1 件	回収率			0 件		
	整理	/			円	整理率			円	
		/			件	整理率			件	
	計	243,000 円		243,000 円	円	処理率	100.0		0 円	
		1 件		1 件	円	処理率	100.0		0 件	

施策141

犯罪に強いまちづくり

【主担当部局：警察本部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

市町や地域住民、ボランティア団体、事業者、学校等との連携による犯罪防止に向けた取組と、発生した犯罪に対する検挙活動の推進により、県民の皆さんが安全で安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会が構築されています。また、社会全体で犯罪被害者等に対する支援が行われています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
刑法犯認知件数		9,400件 未滿		8,700件 未滿		7,500件 未滿
	10,322件					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	刑法犯（道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷を除く）について、1年間に被害の届出や告訴・告発を受理等した件数					
3年度目標値の考え方	刑法犯認知件数は、ピークであった平成14年以降ほぼ一貫して減少しており、現状の刑法犯認知件数の減少傾向を維持させる必要があります。 令和5年に7,500件未滿とすることを目標に、毎年段階的に減少させることとし、令和3年度の目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
「子ども安全・安心の店」認定事業所数		600事業所 以上		800事業所 以上		1,000事業所 以上
	262事業所					
重要犯罪の検挙率		90%以上		90%以上		90%以上
	94.8%					
機動力の向上、施設の老朽化・津波浸水への対策を講じた交番・駐在所数		85か所以上		90か所以上		100か所以上
	80か所					
犯罪被害者等支援施策集を作成した市町数		11市町		18市町		29市町
	2市					

現状と課題

- ①犯罪の発生は、県民に不安を与えることから早期の検挙が重要です。最近では、防犯カメラ画像の収集や分析、電磁的記録の解析による犯罪立証など、電子機器を活用した捜査が不可欠となっており、さまざまな捜査資機材や検査機器が必要です。加えて、こうした捜査に対抗し、容姿を隠匿する犯罪には、最新の鑑定手法を取り入れる必要があります。
- ②警察が行う防犯・交通安全教室は、年間約1,400コマに止まっています。これは、警察官の訪問という時間的制約から、これ以上の実施ができないためです。加えて、令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から訪問自体が困難となりました。このため、開催数を向上させることができ、感染症対策にも適応したリモート教室を導入する必要があります。
- ③地域警察官の活動は交番・駐在所を拠点に、パトカーを使用して行われます。一方、耐用年数を超えた交番・駐在所は73か所、またパトカーが配備されていない駐在所は33か所もあります。このため、建て替えやパトカーの配備による機能向上を早期かつ計画的に行う必要があります。
- ④大台警察署は、南海トラフ地震や激甚化する風水害等で、大きな被害が懸念される南部地域の北端に位置します。近い将来に発生が予想される災害の拠点として、救出救助などの警察活動を迅速かつ的確に展開できるよう速やかな建て替えを進めます。
- ⑤令和3年度は、県内で島サミット、国体・大会が開催され、国内でもオリ・パラ大会とこれに関連する行事が開催されます。こうした大規模行事を安全に開催するため、警備に万全を期す必要があります。
- ⑥多様な主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進するため、市町と緊密な連携のもと、地域の自主的な防犯活動等を促進する必要があります。
- ⑦「三重県犯罪被害者等支援条例」をふまえて策定した「三重県犯罪被害者等支援推進計画」（令和元年12月）に基づき、犯罪被害者等支援施策を総合的かつ計画的に推進する必要があります。犯罪被害者等のおかれている状況はさまざまであり、求められる支援も多岐にわたることから、市町をはじめとする関係機関等との連携を強化し、総合的な支援体制を整備することが求められるとともに、二次被害を防止するため犯罪被害者等に対する県民の皆さんの理解を促進する必要があります。

令和3年度当初予算編成に向けての基本的な考え方

警察本部

- ①犯罪を早期に検挙するため、捜査資機材や検査機器を導入するとともに、科学捜査研究所の鑑定環境の整備にも取り組みます。
- ②複数の学校・クラスに同時に配信ができ、非対面・非接触で双方向の授業が可能となるリモートによる防犯教室、交通安全教室に取り組みます。
- ③老朽化した交番・駐在所の建て替え、パトカー等装備品の購入など警察活動を支える基盤の整備に取り組みます。
- ④災害等有事の際の即応体制、災害活動拠点としての機能に配慮しつつ、人口減少・高齢化社会に適應した大台警察署の設計に取り組みます。
- ⑤島サミットでは、各国の首脳が、国体・大会でも、皇室をはじめ来賓、選手、関係者など多数の方が三重県を訪問されます。来県された皆さんが、それぞれにとって極めて重要な活動を安心して行っていたくため、会場・移動経路などで万全の警備を行います。

環境生活部

- ⑥多様な主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していくため、市町との連携を一層強化しながら、「意識づくり」「地域づくり」「環境づくり」をベースに、「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」の展開を図ります。
- ⑦「三重県犯罪被害者等支援推進計画」に基づき、犯罪被害者等の状況に応じた必要な支援を適切に行うため、三重県犯罪被害者等見舞金の速やかな支給を行うとともに、市町をはじめとする関係機関等との連携を強化し、総合的な支援体制を整備するほか、研修会の開催等により支援従事者を育成します。また、犯罪被害者等を支える社会の形成を促進するため、犯罪被害者等に対する県民の皆さんの理解を深める取組を推進します。

令和元年度
歳入歳出決算補充説明書

令和2年10月

警察本部

令和元年度一般会計歳入歳出決算について御説明いたします。

【歳入】

警察本部関係の歳入決算額は、

予算現額	47億6,311万	280円	
調定額	47億3,694万6,	442円	
収入済額	47億	578万	472円
不納欠損額		89万3,	000円
収入未済額	3,027万2,	970円	

となりました。

【歳出】

警察費の歳出決算額は、

予算現額	377億1,125万6,	280円
支出済額	375億8,317万9,	797円
翌年度繰越額	1,431万1,	000円
不用額	1億1,376万5,	483円

となりました。

以下、「令和元年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、御説明します。

まず、歳入決算についてです。

48頁の第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第1目総務使用料のうち警察本部関係は、

予算現額	578万1,000円
調定額	578万1,504円
収入済額	578万1,504円

で、収入済額の主なものは、警察庁舎の一部の事務所使用、自動販売機の設置等に係る建物使用料です。

64頁の第2項手数料、第8目警察手数料は、

予算現額	21億4,386万9,000円	
調定額	21億4,375万	780円
収入済額	21億4,375万	780円

で、

収入済額の主なものは、自動車運転免許証交付等手数料、更新時講習等手数料、高齢者講習手数料、自動車保管場所証明書交付申請等手数料などです。

82頁の第9款国庫支出金、第2項国庫補助金、第3目衛生費補助金のうち警察本部関係は、

予算現額	43万1,000円
調定額	47万6,000円
収入済額	47万6,000円

で、

収入済額の全てが医療施設運営費等補助金です。

98頁の第8目警察費補助金は、

予算現額	4億8,684万9,000円
調定額	4億7,912万9,000円
収入済額	4億7,912万9,000円

で、

収入済額の全てが、警察費補助金であります。

収入済額が予算現額に比べ、772万円の減収となりましたが、これは、交通安全施設整備費充当事業で翌年度繰越が生じたことなどに伴うものです。

116頁の第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億3,490万円
調定額	1億3,396万13円
収入済額	1億3,396万13円

で、

収入済額の主なものは、警察職員住宅からの家賃下料です。

第2項財産売払収入、第2目物品売払収入のうち警察本部関係は、

予算現額	131万9,000円
調定額	131万8,145円
収入済額	131万8,145円

で、

収入済額の全てが、不用物品等を売却した物品売払収入です。

124頁の第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金のうち警察本部関係は、

予算現額	7,459万8,000円
調定額	7,460万4,010円
収入済額	7,460万4,010円

で、

収入済額の主なものは、財政調整基金繰入金です。

126頁の第13款繰越金、第1項繰越金、第1目繰越金のうち警察本部関係は、

予算現額	67万3,280円
調定額	67万3,280円
収入済額	67万3,280円 で、

収入済額は、平成30年度から令和元年度に繰り越した事業に充当したものです。

128頁の第14款諸収入、第1項延滞金、加算金及び過料等、第1目延滞金のうち警察本部関係は、

予算現額	8,000円
調定額	1万2,600円
収入済額	1万2,600円 で、

収入済額の全てが、放置違反金の延滞金です。

第3目過料等のうち警察本部関係は、

予算現額	3,108万6,000円
調定額	3,741万1,000円
収入済額	3,460万8,141円
収入未済額	280万2,859円 で、

収入済額の全てが放置違反金です。

138頁の第8項雑入、第2目雑入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億9,054万5,000円
調定額	1億9,174万957円
収入済額	1億9,174万957円 で、

収入済額の主なものは、留置施設食費等弁償金、警察職員住宅使用料です。

142頁の第3目過年度収入のうち警察本部関係は、

予算現額	224万4,000円
調定額	2,577万2,694円
収入済額	217万8,743円
不納欠損額	89万3,000円
収入未済額	2,270万951円 で、

収入済額の主なものは、放置違反金です。

不納欠損額は、放置違反金の消滅時効によるものです。

なお、収入未済額は、放置違反金及び弁償金の滞納によるものです。

第5目弁償金のうち警察本部関係は、

予算現額	580万7,000円
調定額	1,031万6,459円
収入済額	554万7,299円
収入未済額	476万9,160円

収入済額の主なものは、交通事故損害賠償金です。

なお、収入未済額は、弁償金の滞納によるものです。

164頁の第15款県債、第1項県債、第7目警察債は、

予算現額	16億8,500万円
調定額	16億3,200万円
収入済額	16億3,200万円

収入済額は、県単警察施設整備費充当及び交通安全施設整備費充当です。

収入済額が予算現額に比べ、5,300万円の減収となりましたが、これは、県単警察施設整備費充当事業で減額、交通安全施設整備費充当事業で翌年度繰越が生じたことなどに伴うものです。

以上、警察本部関係の歳入決算について御説明しました。

なお、未収金につきましては、所在不明者の追跡調査、電話や訪問による催促等を行い、納付に応じない者には、滞納処分を実施するなど、引き続き、収納確保に努めてまいります。

次に歳出決算について御説明します。

第9款警察費のうち、426頁の第1項警察管理費、第1目公安委員会費は、

予算現額	687万5,000円
支出済額	654万5,243円
不用額	32万9,757円

支出済額の主なものは、公安委員報酬のほか、公安委員会の事務などに要した経費です。

第2目警察本部費は、

予算現額	330億1,569万7,139円
支出済額	329億6,569万6,564円
不用額	5,000万575円

支出済額の主なものは、警察職員の給料のほか、福利厚生、施設運営などに要した経費です。

不用額の主なものは、給与費における職員手当、給料等の執行残及び警察運営費における赴任旅費の執行残などです。

428頁の第3目装備費は、

予算現額	4億4,256万8,000円
支出済額	4億3,394万7,916円
不用額	862万84円 で、

支出済額の主なものは、警察用車両、船舶、航空機等警察機動力の運用・維持、装備資機材の整備などに要した経費です。

430頁の第4目警察施設費は、

予算現額	3億1,267万5,280円
支出済額	2億8,396万618円
不用額	2,871万4,662円 で、

支出済額の主なものは、警察本部の設備改修工事のほか、平成30年度から繰り越されたブロック塀等の緊急安全対策工事などです。

なお、不用額の主なものは、ブロック塀等の安全対策工事の執行残として生じた繰越不用額です。

第5目運転免許費は、

予算現額	9億390万6,861円
支出済額	9億390万6,861円
不用額	0円 で、

支出済額の主なものは、運転免許試験、運転免許証更新事務、交通法令違反者に対する行政処分、運転免許更新者等に対する各種講習を実施するために要した経費です。

432頁の第6目恩給及び退職年金費は、

予算現額	3,705万1,000円
支出済額	3,649万2,554円
不用額	55万8,446円 で、

支出済額は、退職職員に対する恩給及びその遺族に対する扶助料の支給などに要した経費です。

次に、第2項警察活動費、第1目一般警察活動費は、

予算現額	2億9,471万4,000円
支出済額	2億8,534万6,454円
不用額	936万7,546円 で、

支出済額の主なものは、警察活動に伴う企画運営、警察教養のほか、捜査活動等の旅費、警察電話や留置施設の維持管理等に要した経費です。

不用額の主なものは、捜査活動等の旅費、警察電話などの通信運搬費の執行残などです。

434頁の第2目刑事警察費は、

予算現額	9億2,375万1,000円
支出済額	9億1,541万5,742円
翌年度繰越額	95万7,000円
不用額	737万8,258円 で、

支出済額の主なものは、犯罪抑止対策、悪質・重要犯罪や組織犯罪の徹底検挙、暴力団排除活動、テロ対策など各種対策の推進に要した経費です。

翌年度繰越額は、街頭防犯カメラを設置するものでしたが、中国の工場の稼働停止で資材の調達が困難となり、年度内の事業完了が不可能となったことから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、天皇陛下の御即位に伴う警備経費の執行残などです。

436頁の第3目交通指導取締費は、

予算現額	3億7,322万9,379円
支出済額	3億7,320万3,162円
不用額	2万6,217円 で、

支出済額は、交通指導取締り、交通事故・事件の捜査、各種交通安全教育の実施など、交通事故の防止と交通秩序の確立を図るために要した経費です。

438頁の第4目交通安全施設整備費は、

予算現額	14億78万8,621円
支出済額	13億7,866万4,683円
翌年度繰越額	1,335万4,000円
不用額	876万9,938円 で、

支出済額は、交通管制センターの維持、交通信号機や道路標識・標示の設置・改良、交通安全施設の維持に要した経費です。

翌年度繰越額は、信号機電源付加装置を設置するものでしたが、需要の高まりにより資材が調達できず、年度内の事業完了が不可能となったことから、やむを得ず繰り越したものです。

以上、令和元年度警察本部関係の歳入歳出決算について御説明しました。

令和元年度歳入歳出決算(警察本部関係)

【歳入】

単位:円

科目	予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	不納欠損額	収入未済額	差額(B-A)
使用料及び手数料	2,149,650,000	2,149,532,284	2,149,532,284			△ 117,716
国庫支出金	487,280,000	479,605,000	479,605,000			△ 7,675,000
財産収入	136,219,000	135,278,158	135,278,158			△ 940,842
繰入金	74,598,000	74,604,010	74,604,010			6,010
繰越金	673,280	673,280	673,280			0
諸収入	229,690,000	265,253,710	234,087,740	893,000	30,272,970	4,397,740
県債	1,685,000,000	1,632,000,000	1,632,000,000			△ 53,000,000
合計	4,763,110,280	4,736,946,442	4,705,780,472	893,000	30,272,970	△ 57,329,808

【歳出】

単位:円

科目	予算現額	支出済額	繰越額	不用額	備考(主な不用額の内容)
警察管理費	34,718,773,280	34,630,549,756	0	88,223,524	
公安委員会費	6,875,000	6,545,243	0	329,757	
警察本部費	33,015,697,139	32,965,696,564	0	50,000,575	・宿日直手当(人件費)等の執行残
装備費	442,568,000	433,947,916	0	8,620,084	・自動車損害保険料(車両等整備・管理費)等の執行残
警察施設費	312,675,280	283,960,618	0	28,714,662	・警察施設ブロック塀等緊急安全対策工事費の執行残(繰越事業)
運転免許費	903,906,861	903,906,861	0	0	
恩給及び退職年金費	37,051,000	36,492,554	0	558,446	
警察活動費	2,992,483,000	2,952,630,041	14,311,000	25,541,959	
一般警察活動費	294,714,000	285,346,454	0	9,367,546	・旅費(警察運営諸費)等の執行残
刑事警察費	923,751,000	915,415,742	957,000	7,378,258	・御代替わりなどに伴う警備経費(テロ等対策費)等の執行残
交通指導取締費	373,229,379	373,203,162	0	26,217	
交通安全施設整備費	1,400,788,621	1,378,664,683	13,354,000	8,769,938	・交通安全施設に係る光熱水費(交通安全施設維持管理費)等の執行残
警察費	37,711,256,280	37,583,179,797	14,311,000	113,765,483	